

こどもの意見聴取ワークショップ「みんなのこえを、まちのみに。」

令和5年4月施行の「こども基本法」により、こども・若者を支援の対象としてのみ捉えるのではなく、一緒に社会をつくるパートナーとして、さまざまな施策・まちづくりにその声を反映させることとなりました。

本市では、「こども計画」にこどもたちの意見を反映させるためのワークショップを開催し、「まちのみに」について、こどもたちからたくさんのご意見をお寄せいただきました。

日時：令和6年11月3日（日）9:00～15:00

会場：郡山城跡（第49回親子まつり会場にて実施）

参加者数：134名

いただいたご意見

■社会全体に関わること（59件・44%）

「世界平和」「みんなが幸せに暮らせるまち」「笑顔があふれるまち」「みんなが困らず楽しく住めるまち」「安全なまち」など、穏やかに楽しく過ごすことができる社会・地域に関するものが多くを占めました。

■公園・遊び場に関すること（25件・19%）

「トランポリン」や「ブランコ」、「巨大アスレチック」「一輪車」など、公園等に設置してほしい遊具や遊び方を具体的に希望するものや、「たくさんの公園がほしい」「広い公園があったらいいな」「バリアフリーの公園」など、公園や遊び場自体の環境に関するものがありました。

■自然環境・動物に関すること（20件・15%）

「ごみが少ない」「ポイ捨てのないまち」など、清潔な地域、自然環境保護に関するものや、「動物と遊びたい」「生き物を大切にするまち」など、身近な生き物に関するものがありました。

■学校の施設・運営に関すること（14件・10%）

「エレベータがほしい」「学校（施設）を新しくしてほしい」など、施設の充実・更新を望むものや、「休み時間を長くしてほしい」「スマートフォンを持っていきたい」など学校運営や校則に関するもの、「デザート」「お菓子」など給食の充実に関するものがありました。

■地域インフラに関すること（5件・4%）

「バス料金を安く」「Wi-Fiを飛ばしてほしい」など、地域インフラの充実に関するものがありました。

■その他（個人的な望みなど）（11件・8%）